

# 八王子市の子ども参加の取り組み

平成12年度～平成27年度

# 「子どもの権利条約」と 「八王子市子どもすこやか宣言」

「未来を担う子どもたちがみんな幸せに、そして責任ある大人になってもらいたい。」「自然がたくさんある八王子でいきいきと生活し、自分の可能性を伸ばして欲しい。」「まわりの人と信頼しあえる関係を大切にし、健康で個性豊かに成長して欲しい。」というのは、私たちの共通の願いです。



この願いを明文化し世界中の子どもが持っている権利を守る規範として、国連では「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」が平成元年（1989年）に採択され、日本も平成6年（1994年）にこれを批准しました。ここでいう権利とは「人権（human right）」のことであり、人間としての尊厳をもつ社会の一員として扱われるべきであるという意味です。

八王子市では、「子どもの権利条約」（「児童の権利に関する条約」）の考え方を取り入れながら、平成13年2月に「八王子市子どもすこやか宣言」を行いました。

それ以降、「子どもが参加する会議」、「イベントやシンポジウムの開催」等を通して、「子どもの権利条約」の考え方を、広くみなさんに知っていただくための取り組みを行ってきました。



# 八王子市子どもすこやか宣言

八王子市では、平成12年3月に策定した「八王子市新地域福祉計画」において、子どもの権利条約の精神を尊重する宣言を行うことにしました。子どもと大人による文案検討委員会をつくり、平成13年2月に発表したものが、この宣言文です。

自然豊かなこの八王子で、子どもたちがいきいきと生活し、自らの可能性を伸ばすとともに、子どもの権利をみんなが理解し、おたがいに信頼しあえる関係を大切にするにより、子どもたちが心も体も豊かに成長できるよう、ここに八王子市子どもすこやか宣言をおこないます。

- 1 わたしたちは、人にはみんな違いがあり、みんなよいところをもっていることを認め、お互いに相手を尊重します。
- 1 わたしたちは、がまんすることの大切さを理解するとともに好きなことに夢をもち、元気にくらしします。
- 1 わたしたちは、しっかりと自分を表現し、自分の意見や行動に責任をもちます。
- 1 わたしたちは、子どもたち一人ひとりが大切にされ、安心して生活できる家庭を望みます。
- 1 わたしたちは、家庭や学校そして地域で、学習する楽しさがわかり自分の可能性を伸ばすことのできる環境を求めます。

平成13年2月4日 八王子市

# 子ども参加の取り組みの総括と今後

## 1 本市の子ども参加の取り組み（詳しくは、別紙を参照。）

	取り組み	内容
平成 12 年 3 月	「八王子市子どもすこやか宣言」	
平成 12～19 年度 (8 年)	「子どもの権利イベント」 「子ども会議」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの権利に関するシンポジウムを開催。</li> <li>・地域の児童館を中心に「子ども会議」開催し、身近な課題について子ども意見の発信を行った。</li> </ul>
平成 20 年度	「子ども議会」	<p>(議会形式により、市全体への意見表明へと発展。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの視点から、市長・教育長へまちづくりの発言や提案を行った。</li> <li>・学生サポーターが、子どもに寄り添うファシリテーターとして活動。</li> <li>・子ども提案により、「子どものしあわせ課」誕生。</li> </ul>
平成 21～24 年度 (4 年)	「子どもミーティング」	<p>(関連所管と連携し、子どもの意見を受け止め反映する「受け皿」をつくるとともに、子ども同士の話し合いの場に市長が同席して一緒に話ができる形式により、より子ども目線に近い事業をめざした。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各年テーマを変え、関係所管部と連携して実施し、子ども意見を施策に取り入れた。 テーマ「環境」「農業と食」「浅川」「防災」</li> <li>・事前学習会は、市民参加を推進するとともに、現場での体験を重視した。</li> </ul>
平成 25 年度～ (3 年)	「子どもの意見発表会」 (児童館)	<p>(子ども参加の裾野を広げるため、地域の身近な児童館での取り組みへと事業形態を移行。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末に、各児童館から集まった子ども企画委員が、市長・教育長に意見を提案。</li> <li>・平成 26 年度は、子ども自身がアンケート調査を行うとともに、子ども・子育て支援審議会委員と「10 年後のはちおうじ」をテーマに意見交換を行い、子ども育成計画に反映した。</li> </ul>
平成 27 年度～	児童福祉専門分科会「子どもにやさしいまちづくり部会」にて、子どもにやさしいまちづくりについて検討開始。	

## 2 13年間にわたる取り組みの成果と課題

- ・子ども議会や子どもミーティング等は、様々な所管と連携した実施による市内への子ども視点の啓発や、市長や教育長に子どもの意見を届けるという象徴的な取り組みから一定の発信効果は見られた。
- ・これまでの取り組みは、あくまでも「子どもすこやか宣言」の啓発の域にとどまっており、主に子ども家庭部やその関係機関での限定的な子ども参加になっているのが現状である。  
身近な地域での子どもの意見表明は、引き続き大切にしていけるが、今後は、子どもに関わる様々な分野にまたがる政策・施策・事業の展開を、子どもにやさしいまちづくりの視点から再編成・総合化していく必要がある。
- ・日本が子どもの権利条約を批准してから20年が経過したが、子育て家庭の多様化や家庭問題の深刻化から、虐待やひとり親、子どもの貧困の問題が急増している。従来の保育や子育て支援、虐待対応といった、少子化対策を中心とした施策の組み立てから、子どものすこやかな育ちを総合的に支える基盤を再構築していくことが求められている。

## 3 今後の方向性

- ・子どもと大人がともに育っていくまちづくりにむけて、単発的・形式的な意見表明の機会にとどまらず、子どもの意見の尊重や参加の機会を恒常的に確保していく制度・しくみを設け、まち全体・学校・子ども施策等の子どもの暮らす多様な場面で子ども参加を具体化していくための基盤整備を行っていく。
- ・今後、子どもの意見の尊重や子ども参加を支援する力を、行政や地域の大人自身が持つことができるよう育成していくとともに、市民やNPOとも連携を図り、子どもにやさしいまちづくりの推進を図っていく。



## 【参考】これまでの子ども参加の取り組み

	子どもの権利イベント・シンポジウム	子ども会議
H12	<p><b>H12.第1回子どもの権利イベント</b> 「子どもの権利って？」～子どもと一緒に考えよう</p>	<p>■H13.2 子どもすこやか宣言■</p>
H13	<p><b>H13.8.10～.11 第2回子どもの権利イベント</b> 「子どもの権利って？」～ 子どもと一緒に考えよう ～</p>	<p><b>H13.9.9 子ども会議(第1回)</b> ■コーディネーター:コスギグレロン朝美(アサミ)さん、子どもの権利宣言文案検討委員会副委員長</p>
	<p><b>H13.12.9 シンポジウム(第1回)</b> ■基調講演:落合恵子さん テーマ「あなたの居場所 子どもと大人、同時代を生きる」 ■パネルディスカッション: テーマ「守られていますか?子どもの権利」 ■コーディネーター:高橋利一さん(日本社会事業大学教授)、パネリスト:川上豊さん(八栄寮長)、加藤 純さん(東京都子どもの権利擁護委員)、コスギグレロン 朝美さん(子ども会議コーディネーター)、小泉明日香さん(都立片倉高校3年)、健康福祉部長</p>	<p><b>H13.9.30 子ども会議(第2回)</b> すこやか宣言文のキーワードから質問を掘り下げていく。 ■コーディネーター:秋山 邦博さん 元 NHK アナウンサー、八王子市体育協会副会長、合気道連盟会長</p>
H14	<p><b>H14.10.5 第3回子どもの権利イベント</b> 事前アンケート(私たちが考えるまちづくり)をもとに、子どもたちが身近に感じるまちづくりについて意見を述べる。 ■コーディネーター:内田宏明さん(長野大学、社会福祉実習助手、子どもの権利条約総合研究所特別研究員) ■参加者:CAP(権利意識を育てる実践指導)3人・ ■パネラーとして中・高生 4名(児童館の卒業生 18才位)、司会1名 入場者:51名</p>	<p><b>H14.9.21 子ども会議(第1回)</b> (中郷・浅川・館ヶ丘児童館) テーマ「わたしたちが考えるまちづくり」 子ども会議地域版開始 ■コーディネーター:野田弘一さん(学校心理士)、参加者:子ども 20人</p>
		<p><b>H15.2.15 子ども会議(第2回)</b> (由木・鹿島・松が谷児童館) テーマ「学校をどういうふうにしたいか?」 ■コーディネーター:野田弘一さん、参加者:子ども 29人</p>

	子どもの権利イベント・シンポジウム	子ども会議
H15	<b>H15.11.16 第4回子どもの権利イベント</b> ■テーマ「私たちが考えるまちづくり」街中たんけん隊「私たちの街」ビデオ取材報告、NPO法人子ども劇場 ■パネルディスカッション：H14実施子どもアンケート分析 ■コーディネーター：森田明美さん(東洋大教授) パネラー：若林ちひろさん(東洋大学実習助手) 中・高・大学生(児童館卒業者)各1名・ こども政策課長	<b>H15.10.4 子ども会議(第1回)</b> (長房・元八・川口児童館) 「ゆめのあそび場」 ■コーディネーター：野田弘一さん、参加者：子ども19人
		<b>H16.3.6 子ども会議(第2回)</b> (南大谷・中野・北野児童館) 「わたしが市長だったら」 ■コーディネーター：野田弘一さん、参加者：子ども16人・大人7人
H16	<b>H16.11.28 第5回こどもの権利イベント</b> テーマ「あそび」「あそび場」について考えよう 第一部 子ども会議の発表 第二部 パネルディスカッション ■コーディネーター：炭谷晃男さん(大妻女子大学教授)、パネラー：各ブロックの代表者及び大学生ほか	<b>H16.9.25～10.23 ブロック別子ども会議</b> <b>市内5ブロックで開催</b> ～「あそび」は私たちの自己実現のひとつ！ 「あそび」を通して、これからのまちづくりを考えよう
		
H17	<b>H18.1.29 第2回子どもの権利シンポジウム</b> ■第一部 基調講演：ラジオDJ 山本シュウさん テーマ「大人も子どもも大切な地域のひとり」 ■第二部 パネルディスカッション ■コーディネーター：炭谷晃男さん(大妻女子大学教授)、パネラー：山本シュウさん、横川小学校長、子ども家庭支援センター館長	<b>H17.9.10～11.26 ブロック別子ども会議</b> 市内5ブロックの実行委員会で企画・運営・開催 ～わたしたちが考えるまちづくり～ ■1ブロック「あそびながら、まちの自然を考えよう！」 ■2ブロック「自然体験をとおしてわたしたちのまちを考えよう」 ■3ブロック「みんなでつくろう！子どもの夢まちマップ」 ■4ブロック「子どもアンケート隊！」 ■5ブロック「みつけよう！発表しよう！〇〇まちのここが素晴らしい！」
		

	子どもの権利イベント・シンポジウム	子ども会議
H18	<p><b>H12.第6回子どもの権利イベント</b> 「いじめの困難の中にある方々、心を痛めている方々へのメッセージ」 原作者 稲葉真弓さん講演会と映画「かかしの旅」の上映</p> 	<p><b>H18.10.～12月 ブロック別子ども会議</b> 市内5ブロックの実行委員会で企画・運営・開催 ～わたしたちが考えるまちづくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■1ブロック「わたしたちのまわりにこんな遊び場があったら最高！」</li> <li>■2ブロック「わくわくひろば あそんでつって意見しよう」</li> <li>■3ブロック「みんなであそぼう」</li> <li>■4ブロック「自分たちの企画で地域祭りに参加しよう」</li> <li>■5ブロック「みんなでつくる『小田野中央公園』にまなぼう」</li> </ul>
H19	<p><b>H19.11.10 子どもすこやか宣言パネル展</b> 多摩西人権擁護委員協議会主催の「第4回子どもたちからの人権メッセージ発表会」会場にて、子どもの権利条約の推進を目的とした、八王子市子どもすこやか宣言の普及啓発事業の紹介。平成19年度子ども会議の取り組みなどをパネル展示。</p> <p><b>H19.12.18～28 子どもすこやか宣言パネル展</b> 市役所本庁ロビーにてパネル展示。</p>	<p><b>H19.7～11月 ブロック別子ども会議</b> 各ブロックにて子ども記者による「地域新聞」を作成 ～なぜ、「新聞」なのか？～</p> <p>新聞作成は、「意見を相手にどう伝えるか？」「説得力のある話をするにはどんな“材料”が必要か？」「言ったことを形にするには仲間との協力が必要」ということを同時に学ぶことができるからであるので、次年度の「子ども会議」に結びつける取り組みとして、新聞製作は有効な方法と考えた。</p> <p><b>H19.5月～ 学生サポーター募集</b> H20 年度開催予定の子ども議会に向けて、大学生によるサポーターを募集し、研修を行う。 主な研修…子ども会議サポート、アドバイザーによる特別研修 ■事業アドバイザー：山本克彦さん(岩手県立大学准教授)</p>
H20	<p><b>H20.11.2 はちおうじ子ども議会報告会</b> 子ども議会の活動について市民向けに報告会を実施。</p> 	<p><b>H20.8.31 はちおうじ子ども議会</b> 子どもの視点で八王子市のまちづくりについて提案を行う。八王子市議会と共催して実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■子ども議員 42名(公募と子ども会議からの推薦)</li> <li>■学生サポーター 24名</li> <li>■事前学習等…結団式(5.10)、施設見学(6.28)、合宿(7.30～.31)</li> </ul>

## 子どもの権利イベント・シンポジウム

## 子ども会議

H21



### H21.8..23 はちおうじ子どもミーティング

子どもの視点で八王子市のまちづくりについて提案を行う。

■テーマ 環境

■参加者 小・中学生 31 名・学生サポーター 20 名

■提案の反映

「雨水浸透ます」設置促進の提案を受け、設置費用に係る補助率を 5 割から 9 割にアップ。

H22



### H22.8.22 はちおうじ子どもミーティング

子どもの視点で八王子市のまちづくりについて提案を行う。

■テーマ 農業と食

■参加者 小・中学生 25 名・学生サポーター 24 名

■提案の反映

販売店や近隣農家などの協力により、給食での八王子産野菜の利用率が增加。

H23



### H23.8..21 はちおうじ子どもミーティング

子どもの視点で八王子市のまちづくりについて提案を行う。

■テーマ 浅川

■参加者 小・中学生 22 名・学生サポーター 20 名

■提案の反映

・標識が汚いという提案を受け、市内全ての川の看板を点検。

・同年 11 月実施の浅川シンポジウムで、子どもが提案発表。

H24



### H24.8..26 はちおうじ子どもミーティング

子どもの視点で八王子市のまちづくりについて提案を行う。

■テーマ 防災

■参加者 小・中学生 23 名・学生サポーター 26 名

■提案の反映

備蓄資材(仮説トイレ・下着・食料等)を見せてほしいという提案を受け、出前講座で積極的に食料体験等を取り入れ。

## 子どもの権利イベント・シンポジウム

## 子ども会議

H25



### H25.3.21 子ども意見発表会

児童館に集う子どもたちが中心となり、子どもの意見を市に提案する。

- 各児童館での子どもによるアンケート調査活動
- 各児童館での検討・意見発表会
- 児童館の代表による子ども企画委員会
- 子ども意見発表会(3月21日)・子どもランド

子ども企画委員 39名が、市長と教育長に子ども意見を報告。

H26



### H26.3.22 子ども意見発表会

公募及び児童館で募集した子どもたちが市長・教育長に意見を発表する。

- 子どもによるアンケート調査の検証
- 「悩み」「相談場所」「遊び(自然体験の機会など)」
- 子ども・子育て支援審議会との意見交換(7月13日)
- 子ども・子育て支援審議会委員と子ども企画委員の意見報告(9月30日)
- 「児童館・こどもシティ」(5か所)で子どもの意見を周知
- 子ども意見発表会(3月22日)
- 提案の反映
- ・第3次八王子市子ども育成計画へ子どもの意見を反映
- ・松が谷地区の街灯が有効に活用されるように、街灯付近にある樹木の剪定が実施された。

H27



### H27.8.30 子ども意見発表会

公募及び児童館で募集した子どもたちが市長・教育長に意見を発表する。

- テーマ 私たちが考える未来の八王子
- 参加者 中学1年生~高校3年生 15名・学生リーダー8名
- 提案の反映
- 商店街の再生について、子ども企画委員が八王子市商店会連合会の方々へ提案発表及び意見交換を実施。